

姫路城のあとは、ふらり野里旅



45
分

姫路城の北東部に位置し、室町時代より職人のまち、商業の町として栄えたその栄華を残す町家を眺めながらふらり野里旅。



①野里門跡



②慶雲寺



②お夏清十郎比翼塚



④大野家住宅



③固寧倉



⑥魚橋呉服店



⑦日吉神社

ここから
姫路城
10分
→
500m
ここから
姫路駅
35分
→
2km

START

①

野里門跡

13分
→
650m

②

慶雲寺
お夏清十郎比翼塚

3分
→
200m

③

固寧倉

10分
→
500m

④

大野家住宅

6分
→
300m

⑤

尾張屋

3分
→
200m

⑥

魚橋呉服店

10分
→
500m

⑦

日吉神社

60分
→
3km

ここまで
姫路駅

所要時間：約45分（見学時間含まず）

姫路城のあとは、ぷらり野里旅



45分

姫路城の北東部に位置し、室町時代より職人のまち、商業の町として栄えたその栄華を残す町家を眺めながらぷらり野里旅。

1 野里門跡

野里門は「野里」と姫路城武家屋敷との間に設けられ、出入口に当たるので「野里門」と名づけられました。「野里」は城下町として、商人の町としての役割を果たしてきました。

2 慶雲寺・お夏・清十郎比翼塚

嘉吉3年(1443年)創建でもとは天台宗の寺院であったが、天正5年(1577年)南室和尚が中興して臨済宗妙心寺派となりました。池田輝政姫路城築城の際に木材を寄進し本堂が再建されました。但馬屋の娘お夏と御津の酒屋の跡取り息子のちに但馬屋に奉公人となった清十郎と深い恋仲となります。しかし、身分の違いから悲劇を招きます。大阪へ駆け落ちしようとして追っ手に捕らわれて清十郎は処刑、お夏は狂乱したと言われています。この二人の霊を弔う為に、但馬屋がこの比翼塚が建てたものと言われています。

3 固寧倉

飢饉に備えた備蓄倉庫。1853年に建てられました。備蓄量は、米25俵、麦36俵、俵他に140人が1ヶ月分食べられる量と推定されます。平成7年に市文化財に指定され、現在市内には、刀出・野里・東山・白浜・妻鹿の5ヶ所のみ残っています。

4 大野家住宅

元禄時代より「鍋市」という名の鋳物屋を営んでいました。建築年代は明治前期以前と推測されます。南側は明治33年に増築されました。平成16年に当初の形状を保ったまま修復されました。姫路市都市景観重要建築物第33号に指定されています。

5 尾張屋

大正9年に建築された木造二階建平入の仕出し屋さんを営む町家です。手軽で効果的に城下町の情緒を再生したいと平成20年に姫路市の社会実験としてお色直し(修景)が行われました。

6 魚橋呉服店

主屋は二棟からなり、南側は明治32年に住家として、北側は大正14年に呉服店として建てられました。ショーケースや呉服や布地を広げる畳敷き部分が設けられており、商店街全盛期の商家の趣を良く残しており、都市景観重要建築物第31号に指定されています。

7 日吉神社

承和7年(840年)随願寺の鎮守として比叡山の日吉大社から勧請されたといひ、山王観権と称します。境内には寛政9年(1797年)の狛犬一對、弘化3年(1846年)の常夜灯1対、「右たしま(但馬)、左ひる三祢(広峯)」と刻印された道標があります。



A 「清十郎もなか」の御菓子司松屋

1924年創業の老舗和菓子店。この銘菓「清十郎もなか」は、慶雲寺の「お夏清十郎比翼塚」にちなんで創られた和菓子で、全国菓子博覧会名誉総裁賞など数々の賞歴に輝いた銘菓です。

B 魚橋呉服店 藍染体験教室

呉服店の5代目の魚橋正昭さんが、無農薬栽培の藍で染めた服やのれんは、心にも体にもやさしいと注目を集めています。
<藍染め体験>
シルク ショール 1500円
所用時間 約2時間



電話で予約して下さい
TEL 079-285-3573
魚橋まで

C 尾張屋

昭和の初め大家食堂を開業。以来80年余り飲食業を続け、現在は仕出し専門店として営業している。店の北隣の町家は憩いの場として提供しており、必要に応じて料理も用意してもらえる。ただし、1日1組限定で1週間前に要予約。収容人数は最高15人くらいで内容は相談に応じてもらえる。



TEL 079-223-1830

ちょっと寄り道。